

【日南市】
校務ＤＸ計画

Ⅰ．現況把握

本市の校務ＤＸに関する概況を、令和６年度「ＧＩＧＡスクール構想の下での校務DXチェックリスト」の自己点検結果をふまえて、以下とおり整理した。

今後、促進が必要な項目	ＤＸが進んでいる項目
① 保護者との連絡や通信 ② 児童生徒との連絡や通信 ③ 端末の持ち帰り ④ ＦＡＸ・押印の削減、廃止	❶ 学校徴収金 ❷ 職員間の連絡や通信 ❸ 校務支援システムの活用

２．課題に対する対策と見通し

「Ⅰ．現況把握」において、促進が必要な項目について、今後の対策と見通しを以下のとおり計画した。

項目	対策と見通し
① 保護者との連絡や通信	現在、一部の学校において、無料アプリ等を活用した保護者への文書配付や出欠連絡等を行っている。 端末更新後に、Ｇｏｏｇｌｅアカウントを用いたシステムへと統一できるようにする。
② 児童生徒との連絡や通信	校内においては、学習支援アプリ「ロイロノート」を用いて児童生徒とも双方向で情報のやり取りができるが、学校外からのアクセスが限定されている。 ③の端末持ち帰りを推進しつつ、課題解決につなげていく。
③ 端末の持ち帰り	令和６年１０月に、デジタルドリルを市内一斉に導入し、令和７年３月までを試用期間として、各学校で活用方法を広げている。 持ち帰りにあたっての「同意書」や取扱いの「規程」等について令和５・６年度に再整理を行ったので、令和７年度から、デジタルドリルアプリを家庭学習の教材として積極的に活用する中で、持ち帰りの促進と②の充実を合わせて行う。

④ F A X ・ 押印の削減、廃止	令和６年度に、F A Xで行っていた「学期始めと終わりの出席状況報告」や「災害発生時の被害状況報告」などを廃止して、電子媒体での報告に切り替えた。 今後も、市教委へ提出する文書等については、F A Xの利用を行わない方法を提示する。 押印については、押印を求めない旨の連絡を行っているが、様式に「印」の文字が残っているものもあるため、令和８年度までに様式等を整理して、押印も原則廃止とする。
---------------------------	--